

災害支援・教育復興にむけて

つなぐ



日教組災害対策本部

〒101-0003

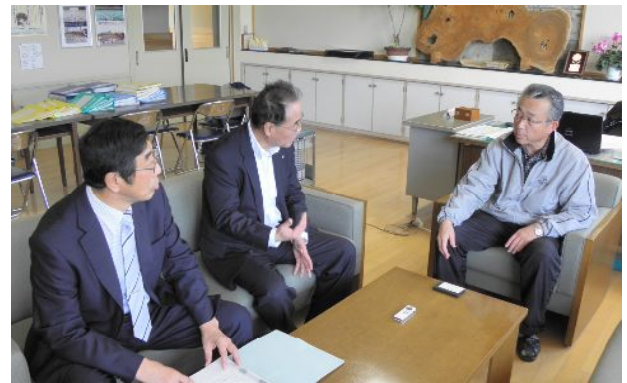
東京都千代田区一ツ橋 2-6-2

HP:<http://www.jtu-net.or.jp/>

被災地を訪問して ③

4月6日、中村中央執行委員長が福島県に入り、被災されている地域の学校を訪問しました。2つの学校(南相馬市立原町第一・第三小学校)の現状や日教組への要望などをお聞きしました。今回は、原町第一小学校での内容を一部お伝えします。

「学校はどうなるのだろうというのが一番の心配事です。入学式は明日だったというような話がでているのですが、こちらはもうそれどころではないです。転校を余儀なくされている保護者の方もいらっしゃるし、こちらの再開のめども立っていません。子どもたちが、宙にういた形になることはしたくないので、他の学校に入るのも子どもたちにとってはいいことだと思います。」



【原町第一小学校を訪問する中村中央執行委員長】



【原町第一小学校の校庭 避難された方々の車】

「県内でも、南相馬から来たというと、風評被害的に放射能のことを思われてしまいます。それを子どもたちにされてしまうと・・・。全国に子どもたちが散らばっている状況なので、そういう風評被害を抑えるための努力をしてほしいと思います。」

「子どもたちに対して、不安を感じさせたり、心に痛手を受けさせたりするような不適切な対応はとってほしくありません。子どもはどうし

ても、おとなより辛らつな言葉を使ってしまいがちなので、学校でその部分のケアに力をいれてほしいと思います。今でも、作物や魚、福島ナンバーだと車も買い取らないということも県内の報道でありましたから。」

「子どもたちの問題は、お金では解決できません。全国に散った子どもたちが、地元に戻るようになったときに、痛手を受けて戻ってくることをないようにしてほしいし、していきたいと思います。」